

グランドメゾン西九条BIO

GRANDE MAISON NISHI-KUJO BIO

No. 20-013-2010作成
新築
集合住宅

発注者	積水ハウス(株)大阪マンション事業部	カテゴリー				
設計・監理	(株)長谷エコーポレーション 大阪エンジニアリング事業部	A. 環境配慮デザイン	B. 省エネ・省CO2技術	C. 各種制度活用	D. 評価技術/FB	
施工	(株)長谷エコーポレーション	E. リニューアル	F. 長寿命化	G. 建物基本性能確保	H. 生産・施工との連携	
		I. 周辺・地域への配慮	J. 生物多様性	K. その他		

都市の中における環境共生住宅の実現

設計コンセプト・・・人と自然をつなぐ住まい

建物は、大規模による圧迫感・閉塞感を緩和する為L型の住棟を大きく南北に分け、2棟のあいだに広い空間（中庭）を創りました。そして2棟をつなぐ住棟は、低層にすることで1階をピロティにすることにより中庭へ＜光と風＞を取り入れることが出来ました。その中庭には、地域の生態系を守る役割としての「里山」を手本にこの地の気候風土に合わせて自然の循環に役立つ樹木を選び、それにより地域にふさわしい生態系を守り鳥や蝶たちの集える環境を再現していきます。「里山」は完全な自然ではなく人の手を加えることで人と自然が一体となって成り立つもの、まさに＜住まいの中の自然＞です。

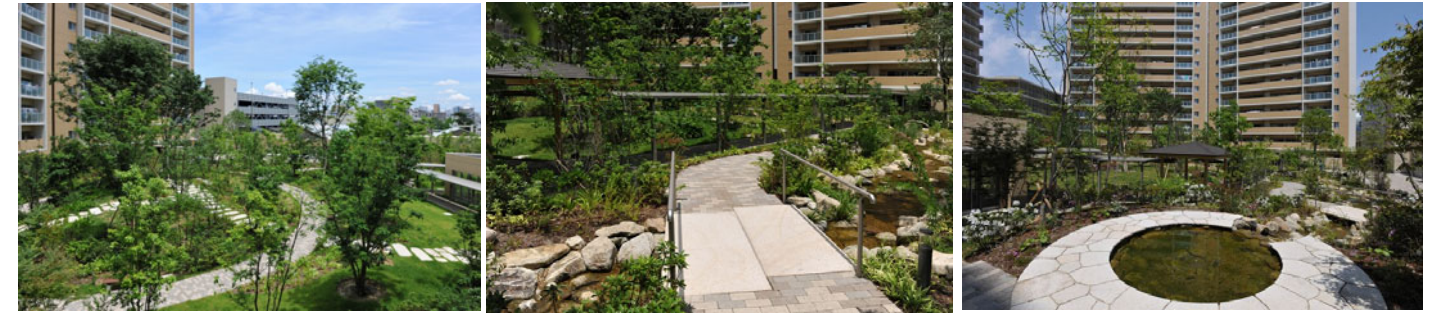
又、その中に「ビオトープ」も再現しました。ビオトープには空气中を漂っている色々な植物の種子が着床・成長し、そこには鳥や蝶・昆虫が集まります。その新たな循環の中で、このビオトープがさらに地域の自然環境への再生に貢献する存在になってくれることを期待しています。

そしてアプローチの豊かな緑地帯と15mを越える大きなケヤキ（シンボルツリー）は、住まう人・訪れる人・地域の人々にとって憩いのスペースとなり、記憶に残る風景となります。



外観写真

又、六軒家川の側道に沿って敷地内に歩道と並木を整備することにより、南側のグランド・公園へ人々が心地よく安心して歩け、その公園に隣接して設けたプレイルットも合わせて地域のコミュニティが広がる場所となることを期待しています。



中庭（里山）

ビオトープ

ビオトープ（泉）

その他の環境対策

生活の中で出来る色々な環境配慮対策を採用し＜快適な生活をおくりながら環境にやさしい住まいづくり＞を目指しました。

□ 対策項目

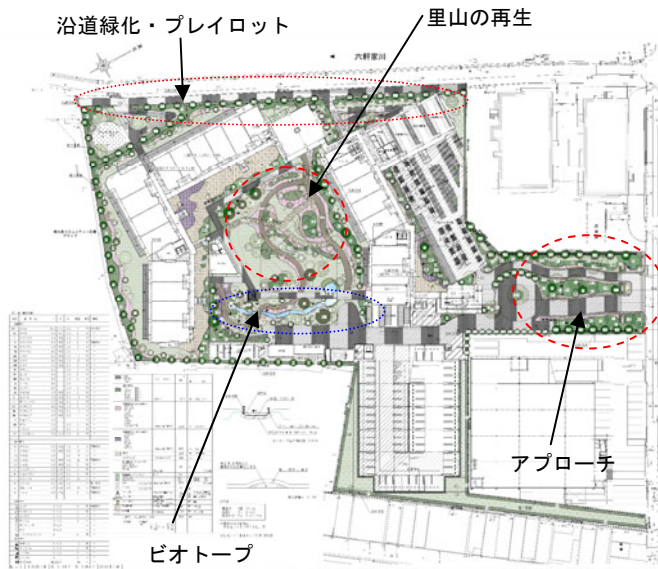
1. 次世代省エネ対策等級4の高断熱設計（型式認定）
2. 断熱材（吹付け硬質ウレタンフォーム）にノンフロン材採用
3. ソーラー発電システム一部に採用（屋上）
4. ソーラー照明・LED照明を外構照明に、高効率蛍光灯を共用部の一部に採用。
5. 透水舗装を採用。
6. 一部に雨水利用システム採用。
7. 自走式駐車場に壁面緑化採用。
8. 共用部にガスヒートポンプ「ハイパワーエクセル」採用。
9. 住戸仕様として
 - ①ディスプレイ ②エコジョーズ ③24時間換気 ④照明に蛍光灯
 - ⑤浴室に保温浴槽・節水型シャワー（手元ボタン付き） ⑥内装クロスに環境配慮型クロス選択 ⑦バルコニーの窓辺に簾用フック設置。



ソーラーシステム（住棟屋上）



ソーラーシステム（共用棟屋上）



配置計画

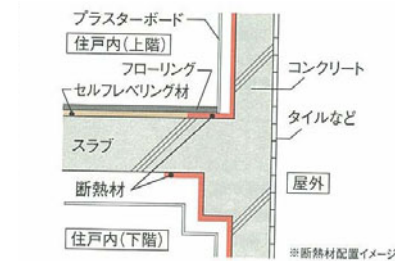


アプローチゲート

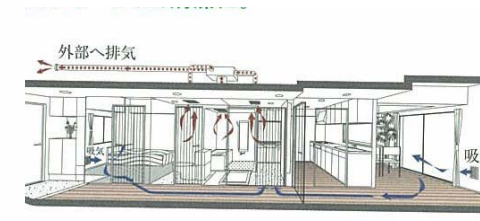


アプローチ

中庭全景



[高断熱設計]



[24時間換気システム]



エコジョーズ
省エネ高効率給湯器
ECOジョーズ
潜熱回収型の熱交換器によって、これまで利用されていなかった排熱をお湯づくりに利用。従来のガス給湯器では約80%程度と言われる給湯熱交換率を約95%^{※1}に高め、さらに床暖房などの追い焚きでも約89%^{※2}の高効率を達成しました。ガスの消費量やCO₂の排出量を削減する、環境にも家計にもやさしい給湯器です。

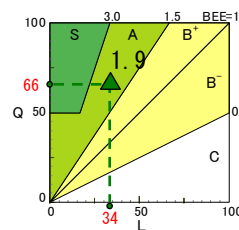


※1：大阪ガス 135-R210型/24号能力時の数値を示しています。
※2：大阪ガス 135-R210型/低温最大燃焼時の数値を示しています。

建物データ	
所在地	大阪府大阪市此花区
竣工年	2009年
敷地面積	14,522㎡
延床面積	38,494㎡
構造	RC造
階数	地上14階

省エネルギー性能	
品確法省エネ対策	等級4

CASBEE評価	
Aランク	
BEE=1.9	
2004年度版	
自己評価	



主要な採用技術（CASBEE準拠）

- | | |
|---------|-----------------------------------|
| Q3. 1. | 生物環境の保全と創出（外構緑化、ビオトープ） |
| Q3. 2. | まちなみ・景観への配慮（沿道緑化と建物配置によるまちなみとの調和） |
| LR1. 2. | 自然エネルギー利用（住宅の自然換気・自然換気、太陽光発電一部利用） |
| LR1. 3. | 設備システムの高効率化（外構にLED照明、エコジョーズ） |
| LR2. 1. | 水資源保護（節水型機器、雨水利用） |
| LR2. 3. | 汚染物質含有材料の使用回避（ノンフロンの断熱吹付け材） |